



# 就農に向けて着々と準備 (2面) 地域との信頼構築が鍵

## 2023年 新春

# 一人一人の夢をカタチに!

# 研修農場新聞

新年特別拡大

(公財) 農林水産振興財団  
八王子研修農場  
(発行責任者)  
農場長 小寺孝治  
(無料)

新年明けましておめでとございます。研修農場では今年も新規就農者育成に精一杯努めてまいりますので、関係する皆様方のご支援を宜しくお願い申し上げます。

## プレッシャーを乗り越え、地域貢献を!

「東京で農家になる」という志を持った研修生たちは、都内の農業者や関係機関など、多くの方に支えられ、栽培管理技術から経営、販売等のノウハウまでを日々一生懸命学んでいる。

は、やるべきことが多くギリギリともいえる。また、本格的に就農が近づくと、より不安やプレッシャーも出てくるので、焦らず日々意識して一つずつ整理しながら乗り切っています。

そうした研修生から今の思い等をそれぞれ述べてもらったので2面に紹介する。

今年度の農家派遣研修先として懇切丁寧に指導をいただいた農家の方々



1年生は、これまで基本的な栽培技術や、販売手法などを学んできたが、今年からは就農後を見据えた実証栽培が始まるため、その作付け計画づくり等を慎重に進めているところである。

2年間の研修は長いようで、就農までの期間として



サツマ農家を目指す2年生

- 〔三鷹市〕星野直治、〔国分寺市〕清水雄一郎、〔清瀬市〕小寺正明、〔国立市〕佐藤英明、本田泰則、〔日野市〕馬場裕真、小俣光雄、川名 桂、〔東村山市〕間野泰広、関田勇蔵、當間幸光、〔八王子市〕中西伸夫、中西真一、平 隆、菱山佳

一、菱山從道、小杉正典、石川耕平、「あきる野市」大福保男、笹本善之、橋本昌司、「瑞穂町」近藤 剛、田中 滋、野本裕樹、「日の出町」馬場敏明、神田 功、田中利夫、矢治紀章、富岡義基、「小笠原村」藤谷明憲(敬称略・順不同)皆様には地域の技術や経営手法等を学ばせていただきここに厚く御礼申し上げます。

**埼玉先進農家への視察**  
都市近郊農業で活躍しているさいたまコーロップ野菜研究会や新規就農で1億を目指す所沢ゼロファーム、狭山本橋園などを訪問。彼らの農業への情熱や経営手法等は、研修生の将来にとって大変参考になった。

**視察見学等の受入**  
10月以降も新型コロナウイルスの感染対策を講じたうえで視察等の受入を行ってきた。10月7日には西多摩農業改良普及事業協議会、11月18日には八王子選出の伊藤都議と市議4名、12月22日には農業会議主催の農地流動化・利用集積現地研究会、ここでは調整区域の農業委員約30名と研修生との意見交換会なども行われた。

このほか、11月28日から3日間、地元中学生4名の職場体験。12月4日には今年度初めて研修生の家族等を招き場内見学会の実施等、いずれも農業の大切さや大変さをよく理解していただき、今後の応援団としても期待している。

**農場産野菜大好評**  
研修棟前での直売は近隣住民の方々にもだいぶ知れ渡り、直売数日前に日時を掲示するだけで毎回50人くらいのお客様にご来場いただき、とても感謝している。また立川で行った農林水産フェアでは約2,000点、有楽町の交通会館マルシェでは1,000点以上の野菜を販売したが、いずれも完売であった。販売ノウハウも研修の一環となるが、やはり対面での販売は、正直に商品を紹介でき、安心して購入いただけることや消費者ニーズを端的に聴けるなど双方にとって価値あるものであった。

**10~12月の主な出来事**

- (10月)
  - ・4、15、26、30日 次期研修生募集現地見学会
  - ・7日 西多摩農業改良普及事業協議会視察
  - ・22日 農林水産フェア直売、27日 進行管理
  - ・フードバンク提供 5、7、14、19、24、28日
- (11月)
  - ・9日 野菜直売、14日 第2回就農支援準備検討会
  - ・16日 埼玉視察、18日 都議視察、19日 交通会館直売
  - ・25日 都庁出荷、28~30日 中学生職場体験
  - ・フードバンク提供 2、4、11、16、18、25、28日
- (12月)
  - ・4日 家族見学会、9、10日 研修生募集実地試験日
  - ・17日 面接試験、21日 野菜直売
  - ・22日 第3回就農支援準備検討会、農業会議現地研究会
  - ・フードバンク提供 2、7、9、14、21、23日

**各々SNS情報**  
研修農場では、研修状況等をツイッターやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもお願いします！

# 研修生たちの今の思い

東京で農家を目指す10名の研修生達に次の①〜③について今の率直な気持ちを書いてみたので紹介する。

①将来を見据えて、いま自分がやるべきことは何か？  
②現在やこれからの不安や課題は？③今年度の成果と新年度に向けての抱負は？  
(2年生)

★木住野さん  
①4月からの独立就農に向けて、経営計画の見直し、練り直し。将来の自分を想像し必要な物の洗い直し。

②経営計画を見直してみると、作付した物が本当に売り切れる事ができるのか？もつと営業努力をするべきなど、販売についての課題は多い。

③作付計画どおりにサツマイモの育苗からできたこと。研修先の農家さんやJAの繋がりが、アカデミーの講義内容。抱負について、二年間アカデミーで学んだ事を最大限に発揮して地域に溶け込み、地域の発展の為に自分の農業をやり抜く。

★佐藤さん  
①借りた畑をしっかりと管理し、利益を出すための計画を立て実行していく。地域に溶け込めるよう交流を深めていく。家族等の協力体制を上手に構築する。

②病虫害や雑草等を的確に管理し、計画通りに進められるか。品質を保って販売できるかなど。  
③就農前に大変なことがあったことが経験できたこと。今後はアカデミー等で教わったことを生かして、真剣に農業に取り組んでいきたい。

実際に就農して農家としてやっていくので、アカデミーで勉強したことをしっかりと活かしていきたい。

★中村さん  
①長期的には地域の農家さんや飲食店、農協、市役所、家族など、今後の経営に関わる人との良好な関係づくりを大切に、短期的には就農してすぐ必要な資材や書類の準備等を行う。

②2か所目以降の農地の確保が課題だが、先ずはしっかりと実績をあげたい。  
③就農後の栽培品目を種まきから防除、収穫、袋詰めまで継続的に行うことで、経験値を蓄積できたこと。作物の生育を責任を持って日々観察することの大切さも改めてわかった。今後は、これまで習得してきた知識経験を存分に活かした農業経営を行いたい。

★鈴木さん  
①新規就農時は農地も資材も経験もまだまだ足りない中でスタートだが、そうした中でも目先の利益だけを追うことなく長期的な視点を持つて取組んでいきたい。そのために改めてどのような経営をしていくのか常に考えて、理念やビジョンに反映していく。

②物価高や天候など自分の力ではどうしようもない不確定要素が農業には多くあり、その不確定要素にどう対処するのが経営の分かれ目だと思うので、そこはじっくりと考えていきたい。  
③今年度は一人ひとりに圃場が与えられ、管理することので就農する際のシミュレーションができたこと。就農する際の作物の選定や品種の選び方など気づきや発見が多くあった。4月からは

①2年間お世話になった研修を将来につなげるための卒業レポート作成。来年度から3年先を見渡して作付計画と販路・労働力・収支など現実に即した目標と実行計画作成。當農開始を控えて地域農家との積極的なコミュニケーションなど。  
②健康・ケガ・事故による経営リスクとその軽減策。(経営開始当初はそれらの

リスクがより身近にあると思うので)  
③天気・気候に合わせて仕事の組み立てや手段を的確に変える難しさや楽しさ。今後は、就農初期は忙しさで見失わないよう、人・畑・野菜・時間・家族・自分を特に大事にする。

①就農時を見据えた2年次の作付け計画について、より実行性の高いものにするために栽培予定の作物についての知識を獲得&整理すること。  
②自分の就農スタイルを具体的にイメージできる状態にすること。農地の確保。販売先をどのように確保するか、具体的な取引条件や要望などを知ること。  
③いかに作物が育ちやすい環境を作り出して、成長をサポートしてあげるかが重要で、丈夫に育った植物は病害虫にも強く、収穫から出荷までの手間もかからず、結果として収益率が高くなる

①経営計画の作成。就農1、2年目は忙しく、経営計画を考える余裕がないので、今の段階で経営について深く考える。  
②新規就農のため既存の農家さんや同じく新規の農家さんと交流を図り、地域に溶け込みたい。また、新年度に作付け予定の野菜の知識を深め、簡単な失敗をしないようにする。  
③基本的な作物の栽培技術知識を得ることができた。また経営の授業を通して、農業でどのように経営をしていくか深く考えられるようになった。今年度は自分の経営のシミュレーションなので、作物、経営と向き合っていて、わからないことや、自分持った仲間に出会えたこと。また農家派遣研修で農家さんやその地域の事に理解を深められた。

★高見さん  
①就農に向けての心構えや覚悟、信念を持ち、持続可能な経営計画をしっかりと考える。そして地元の農家さんとの関係作りをしていきたい。  
②東村山市での就農を目指しておりますが、農地が確保できるのか。売り先についても安定的に確保できるのか。  
③信頼できる人、同じ志を持った仲間に出会えたこと。また農家派遣研修で農家さんやその地域の事に理解を深められた。

★雨宮さん  
①就農時を見据えた2年次の作付け計画について、より実行性の高いものにするために栽培予定の作物についての知識を獲得&整理すること。  
②自分の就農スタイルを具体的にイメージできる状態にすること。農地の確保。販売先をどのように確保するか、具体的な取引条件や要望などを知ること。  
③いかに作物が育ちやすい環境を作り出して、成長をサポートしてあげるかが重要で、丈夫に育った植物は病害虫にも強く、収穫から出荷までの手間もかからず、結果として収益率が高くなる

★吉岡さん  
①2年間お世話になった研修を将来につなげるための卒業レポート作成。来年度から3年先を見渡して作付計画と販路・労働力・収支など現実に即した目標と実行計画作成。當農開始を控えて地域農家との積極的なコミュニケーションなど。  
②健康・ケガ・事故による経営リスクとその軽減策。(経営開始当初はそれらの

①栽培予定品目の習熟度向上(播種、栽培管理、収穫、出荷調整等の作業内容及びスケジュールの把握など)  
②新年度の作付けが計画通りうまく進められるか不安。

★玉川さん  
①栽培予定品目の習熟度向上(播種、栽培管理、収穫、出荷調整等の作業内容及びスケジュールの把握など)  
②新年度の作付けが計画通りうまく進められるか不安。

★中村さん  
①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと

①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと



就農を目前にお互い切磋琢磨し合う2年生

①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと

②不安はないが、今は5人での作業が多く、人を頼り過ぎていて。就農後を想定し、自発的に行動していく。授業内容の復習が追いつかず、焦りが出ている。時間の使い方を上手にしたい。

③収穫・調整のスピード感。日頃からスピードが大事と叩き込まれたおかげで、派遣先で褒められた事が嬉しかった。これまで多くを学んで、やりたい事も増え、様々な思いもある。だが、原点を忘れず決してブレない自分でいたい。農業は1人では困難なこと、人の繋がりの大切さを痛感した。来年はもっと作物と真剣に向き合い、全てのことに対して深く考えていく2年次としたい。

①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと

②不安はないが、今は5人での作業が多く、人を頼り過ぎていて。就農後を想定し、自発的に行動していく。授業内容の復習が追いつかず、焦りが出ている。時間の使い方を上手にしたい。

③収穫・調整のスピード感。日頃からスピードが大事と叩き込まれたおかげで、派遣先で褒められた事が嬉しかった。これまで多くを学んで、やりたい事も増え、様々な思いもある。だが、原点を忘れず決してブレない自分でいたい。農業は1人では困難なこと、人の繋がりの大切さを痛感した。来年はもっと作物と真剣に向き合い、全てのことに対して深く考えていく2年次としたい。

①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと

②不安はないが、今は5人での作業が多く、人を頼り過ぎていて。就農後を想定し、自発的に行動していく。授業内容の復習が追いつかず、焦りが出ている。時間の使い方を上手にしたい。



夢と現実を語り合いながら有意義な日々を過ごす1年生

①新たな人脈作り。経営理念として「未来へ繋げる農業」について、もっと